

## 2009年度 定時総会開催

2009年4月25日(土) 於：クーポール会館 (静岡市)

### 1 総会

日時：2009年4月25日(土) 14:00～

会場：クーポール会館 (静岡市)

進行：岡井政彦専務理事

開会挨拶 (吉澤 淳会長)

来賓紹介 (吉澤 淳会長)

(社)日本技術士会中部支部長 辻 喜礦様

愛知県技術士会代表幹事 中川宗彦様

岐阜県技術士会副代表幹事 深川 仁様

来賓祝辞 (辻 喜礦様)

議事 (議長 吉澤 淳会長)

(報告岡井専務理事、鈴木会計理事)

第1号議案 2008年度事業報告

第2号議案 2008年度決算報告

第3号議案 名誉会員の推薦案

第4号議案 2009年度の事業計画案

第5号議案 2009年収支予算案

第6号議案 (社)中小企業診断協会との  
覚書交換

**審議のうえ原案のとおり承認される。**

閉会挨拶 (久保嶋勝巳副会長)

### 2. 記念講演

「生物の超技術

— 21世紀の技術のあるべき姿 —

講師：静岡理工科大学物質生命化学科教授

志村史夫 氏

### 3. 懇親会

以上



開会挨拶 吉澤 淳 会長

#### 吉澤会長挨拶

皆さん今日は。本日はご多忙の中、又、穀雨の洗礼を受けながらのご参集有難うございます。ご来賓の皆様には遠路はるばるご出席を頂きまして有難うございます。

昨年の会長就任の挨拶で、伝統ある静岡県技術士協会と若々しい静岡県技術士会が一体となって魅力ある会を作り、会員の増強を図り、社会に貢献すると同時に会員の皆様への満足度を少しでも高める事であると申し上げました。このテーマは本年も継続するものであります。

テーマ遂行のためのコンセプトも現場100回の実行に変わりありませんが、本年は心のほうれんそう(報・連・相)を加えたいと思います。大不況の現場に於いては相手の立場を考え心を通わせる事が最も大事であると思います。

昨年度、三名の方が入会し、充実した会報を発行し、多彩な例会が執り行われました。又、日本技術士会中部支部との連携・交流に於きましても八名の会員の方々がそれぞれの役員及び委員として活躍をされました。外部の現場を求めて中小企業診断協会との交流の糸口も出来ました。しかし、活動未達の部分も多く有りました。会長として大いに反省を致しております。会員の皆様も一回でも二回でも多く現場へ出かけ「ほうれんそう」をお願い申し上げます。

新しい兆しはあります。中小企業診断協会とはアライアンス具体化の為の覚書を提案させていただきます。既に動き始めております理科支援講師派遣への取り組みも、中部支部「理科支援委員会」へ参画し活躍の場を広げようとしております。本年は十一名の会員の方に中部支部での役員及び委員としてお願いいたしました。

そして、この席には会員以外に 2008 年度合格者の森さん伊藤さん日名地さんが体験入会で見えています。又、オブザーバーとして中小企業診断協会静岡県支部の菊間さん、静岡市議会議員の牧田さんが参加されております。

多彩な皆様の力を結集して新しい魅力に溢れた会を作っていきます。

新しいスタートに際しまして私のご挨拶と致します。

本日は有難うございました。続きまして来賓の皆様のご紹介をさせていただきます。本日は、日本技術士会中部支部長辻喜礦様、岐阜県技術士会副代表幹事深川仁様、愛知県技術士会代表中川宗彦様にご参加いただいております。

### 来賓祝辞

(社)日本技術士会中部支部長 辻 喜礦 様  
皆さん今日は、中部支部長を死ぬまでやるといっています。まだ死にませんので、今しばらく続けます。静岡県は我々が会に入る以前から、協会としてかなり活動しておられまして、10 回くらいだと思いましたが、日本平の全国大会に参加させてもらいました。それ以来静岡県はいろいろな方々が、中部支部の活



(来賓祝辞 辻支部長)

動を支えていただいた経由がございますので、敬意を表しております。来年度は公益法人化、に変わりますので、これからどういう風に動くかということもありますが、今までのやり方とどう風になるかといいますが、個人としてやるのではなく組織としてやる、ということが必要でありますので是非静岡県としての力を結集していただいて、公益とはなにかということも含めて具体的な活動をしていただきたいと思っております。これからの予定をいいますと、頭に入れていただきたいと思っておりますが、5月23日に、支部総会があります、名古屋ですので、遠い方はご迷惑でしょうが、中央大学の名古屋キャンパスでやります。総会の資料は30日に発送し連休前にはお手元に届きますので、出席できない方は是非委任状を出していただきたいと思っております。今年の記念講演は、日本で初の、小型ジェットを開発しております三菱重工から別れた、三菱航空機の会長であります戸田さんの記念講演をさせていただきます。MRJの開発についての、ご説明を戴くことになっておりますので、ぜひご参加していただくようお願い致します。それから10月15、16日と仙台で、全国大会がありますので、ぜひご参加していただくようお願い致します。来年は第37回の全国大会を9月の24、25日と四日市でやります。四日市は今三重県のかたがいないのでいうわけではありませんが、今日は総会をやっていますが、四日市に見に行こうという魅力あるものが無いので、中身で勝負ということで、今企画等について検討しておりますので、是非皆さんのご

意見を出していただいて、皆さんが行きたいという、全国大会にしたいと思っております。実は岐阜県の大会は、29回でしたけども、此処では今までのようなやり方でなく、分科会をやめまして、1日全員と一緒に催しを開くという、風に変えました。今回もそのように、このスケジュールに合わせますけども、前日の24日に各部会の会を開いていただき、25日が正式な日ですが、24日に部会を開きます。今のところ19の部会があり、大規模な建設部会が、開催を見送るということで、問題ありますが、これをもう少し詰めていきたいと思っております。是非皆様のご協力とお力によりまして全国大会を岐阜県以上に活発なものになって皆さんに喜んでいただけるような大会にするよう考えておりますので、皆様のご協力をいただけるようよろしくお願い申し上げます。有難うございました。



（来賓の皆様）

## 総会概要

### 第1号議案 2008年度事業報告

#### 1. 会員の状況

- (1) 会員数の変化 (140名 → 134名)
  - ・2009年3月末個人会員 121名  
賛助会員 13社 計 134名
- (2) 入会者 (4名) (3) 個人会員退会者 (8名)
- (4) 賛助会員退会 (1社) (5) 休会者 (1名)

#### 2. 活動状況

- (1) 2008年度定時総会 4月19日開催。  
記念講演 講師 静岡理工科大学学長荒木信幸氏
- (2) 例会開催 4回開催 (3) 理事会等の開催 6回、
- (4) 地区ブロック活動 東、中、西部 各1回開催
- (5) 会報発行 4回、(6) 受託事業等の活動 2件
- (7) (社) 日本技術士会中部支部との連携交流  
副支部長、幹事、各委員会委員計8名が参加
- (8) 理科支援講師派遣、中小企業診断協会と交流等

### 第2号議案 2008年度決算報告

- (1) 一般会計
  - 収入 2,457,972円
  - 支出 2,457,972円 (次年度繰越金) 698,710円
- (2) 基金特別会計 基金の部 2,010,000円
- (3) 50周年記念事業積立金 総額 300,000円

- (4) 会員名簿作成積立金 総額 300,000円
- 一般会計監査報告 報告 斎監事、長島監事

### 第3号議案 名誉会員の推薦

当協会規約に基づいて、下記会員を名誉会員に推薦する。

- 松尾博孝会員 (機械) 伊藤和美会員 (建設)
- 藤原正臣会員 (建設)

### 第4号議案 2009年度事業計画

#### 1. 事業推進の方針

魅力ある会を作り、会員の増強を図り、技術士集団としての存在価値を、更に、広く深く社会に認知させることを目指すものである。

#### 2. 事業計画

- (1) 総会 日時：2009年4月25日 (土) 14:00
- (2) 例会の開催 4回開催予定
- (3) 地域ブロックにおける自主活動
- (4) 役員会の開催
- (5) 受託業務等の推進
- (6) 受託業務等推進委員会  
委員に野々垣智樹会員を選任
- (7) ホームページ (HP) 運営委員会の活動  
会員への登録を推進する。
- (8) 会報の発行 年4回発行 (6、9、12、3月)、

HPにも掲載

(9) 会員名簿 2010年版作成に向け検討

(10) (社) 日本技術士会中部支部との連携・交流  
新たに3名の会員を委員に選任

### 第5号議案 2009年度予算

(1) 一般会計

収入 2,463,607 円

支出 2,463,607 円 (次年度繰越金 667,607 円)

(2) 基金特別会計 予算2,010,000円

(3) 50周年記念事業積立金

予算 100,000 円 積立総額 400,000 円

(4) 会員名簿作成積立金

予算 100,000 円 積立総額 400,000

### 第6号議案 (社) 中小企業診断協会との覚書交換

当協会と(社) 中小企業診断協会静岡県支部で、お互いに関係する中小企業に対する支援を協力して推進するために覚書を締結する。

(以上詳細は議案書を参照願います。)

## 総会講演(要旨)

(文責編集子)

### 生物の超技術

静岡理工科大学教授

ノースカロライナ州立大学併任教授

工学博士 志村史夫 氏

#### 1. 私の研究(道楽)歴

①1974~1983 日本、1983~1993 アメリカ

誘電体結晶/物性

半導体結晶/物性

半導体エレクトロニクス技術

1993~日本

文明・人間・思想・ギリシャ・インド

哲学・科学技術史(古代日本)・

基礎物理学・新炭素材料・水・古代

鉄・日本刀・古代瓦・オカリナ・生

物機能

②「人類の科学・技術の極致」→「自然哲学・古代

人の叡智」→「自然の叡智・生物の機能」



## 2. 古代日本の超技術 あつと驚くご先祖様の知恵

- ① 24 年にして解体したマリナーズドーム球場。近代建築の短寿命、1300 年間凛として立つ法隆寺の伽藍。古代日本の優れた技術の凝集。適材適所、木組み、柔構造、木の加工、朽ちない鉄、屋根瓦。部材は樹齢 2000 年のヒノキ
- ② 木の強さ 2000 年自力で立つヒノキの強さ、屋久杉は縄文杉樹齢 7200 年、紀元杉 3000 年、動物では貝が長寿で 405 年

## 3/生物の超技術

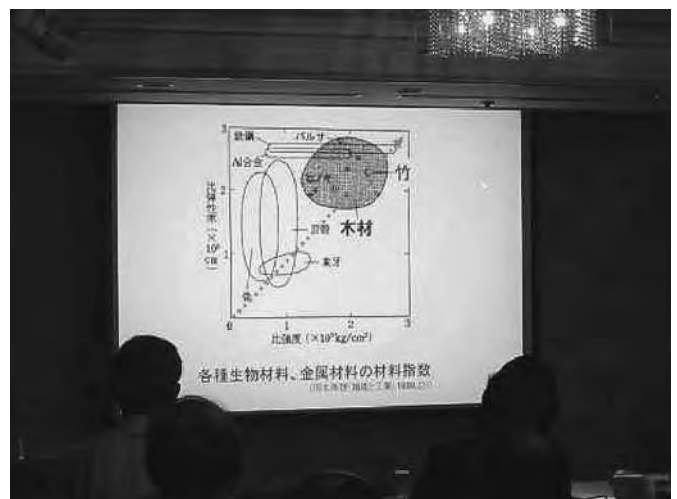
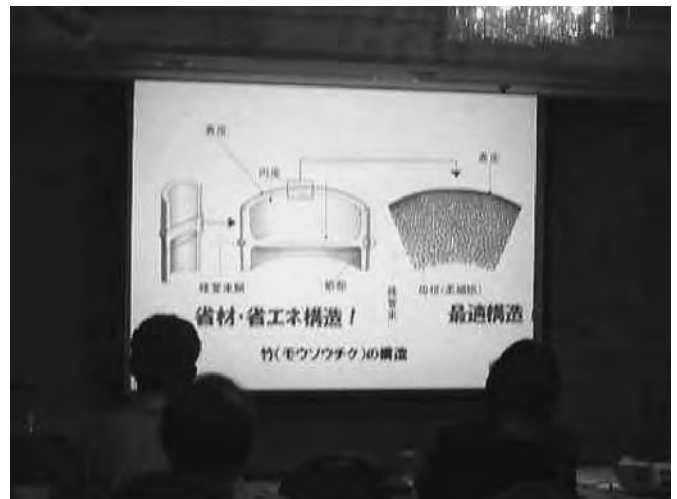
- ① 「生物の超技術—あつと驚く木や虫たちの知恵 人間よ、自然界の深慮遠謀を知れ」出版
- ② 木の強さ 圧倒的に軽くて強い材料である木、炭水化物で同属の炭素、水素、窒素で出来ており相性良く、腐らない。細胞壁の構造は多層複合構造で強い。
- ③ 竹の強さ 桿構造で船底の基本構造と同じ。強化繊維にあたる維管束が外側に多く、内側にまばらに入れている。省材・省エネ構造で最適構造である。無駄が無い。

## 4. カイコの超技術

- ① 絹は衝撃切断力に強い。カイコはハイテクシルク工場。
- ② カイコの絹の製造工程は光ファイバーの製造工程に同じで、よりハイテク。
- ③ 絹の原料は軽元素の炭素、窒素、酸素、水素、くもの糸も同じ。工程は常温常圧で、成形材、金型不要。
- ④ 人間は手抜き、偽装するが、生物は手抜き偽装をしない。
- ⑤ 不要になれば自然消滅。自然に負担をかけない。

## 5. 生物の驚異

- ① 生き物は、(i) 徹底的に省エネルギー省材料である。(ii) 自己修復機能を持つ。(iii) センサー機能を持つ。(iv) 外部刺激に対する適応変化機能を持つ。



- ②修復機能について。切っても切っても再生するプランナリアは、273 個まで切られても再生する。
- ③お茶の木は、枝をばっさり切られても 1 ヶ月後には緑になる。

6. 擬態について

- ①擬態とは、動物が身を守ったり、敵を攻撃したりするために、色や形を周囲の他のものに似せること。
- ②カレイ、ヒラメの目の位置は幼魚のときは普通の魚と同じだが、成長にしたがって移動していく。
- ③擬態のいろいろ。花オコゼ、タツノイトコ、マダコ、「鳥羽水族館のスター」リーフィー・シードラゴン、コノハマシ、ナナフシ、ハナカマキリ、アクマカマキリ、お尻を頭にごまかす、どっちが頭かな、の虫、擬態の最高サイケデリカ、ハリセンボン、ダンゴ虫、タンポポ。

驚異です。

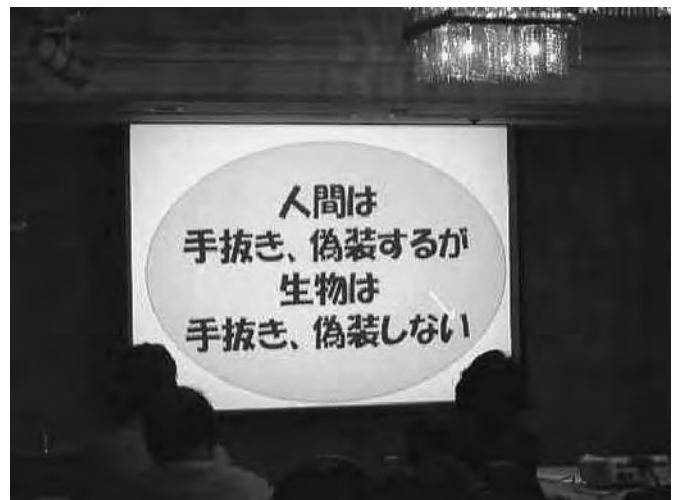
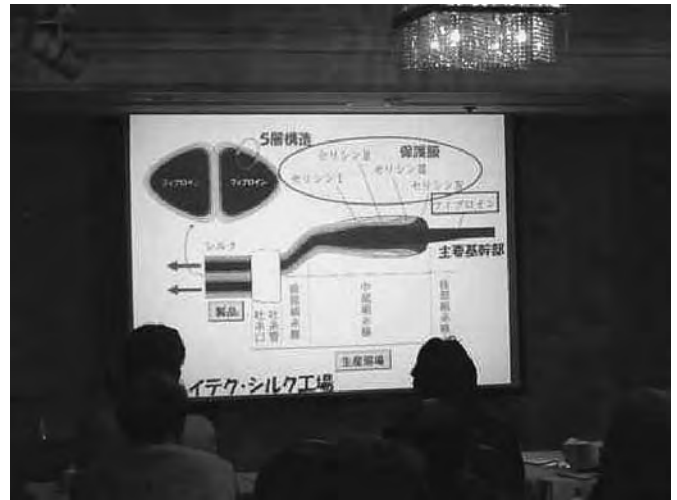
7. あつと驚く生物の超技術・知恵

- ①400 年前にガリレイが言った。「自然はわれわれの知性にとって限りなく驚嘆すべきことを最高の容易さと単純さとでやっているのです。」
- ②人間がバランスを崩し自然環境を破壊しつつある。
- ③生物の智慧とは「自然に生きる、自然に生かされる、自然を活かす、自然に活かされる、自然に還る」40 億年前に生命が誕生して以来続けてきた。
- ④46 億年を 1 年に縮めた円形生命・生物史カレンダー。

|         |                  |
|---------|------------------|
| 地球の誕生   | 1 月 1 日 0 時 00 分 |
| 原始生命の出現 | 3 月              |
| 酸素の蓄積開始 | 5 月              |
| 動植物の出現  | 11 月             |
| 人類祖先の出現 | 12 月 31 日 19 時   |

⑤人類文明史カレンダー

|           |           |         |
|-----------|-----------|---------|
| 人類の祖先の出現  | 1 月 1 日   | 0 : 00  |
|           |           |         |
| 産業革命      | 12 月 31 日 | 2 : 06  |
| 第 1 次科学革命 | 12 月 31 日 | 23 : 08 |



産業革命 12月31日 23:28

第2次科学革命 12月31日 23:51

⑥地球・生命・人類の歴史の46億年を46メートルの年表を作ると

地球誕生 46億年前 46m

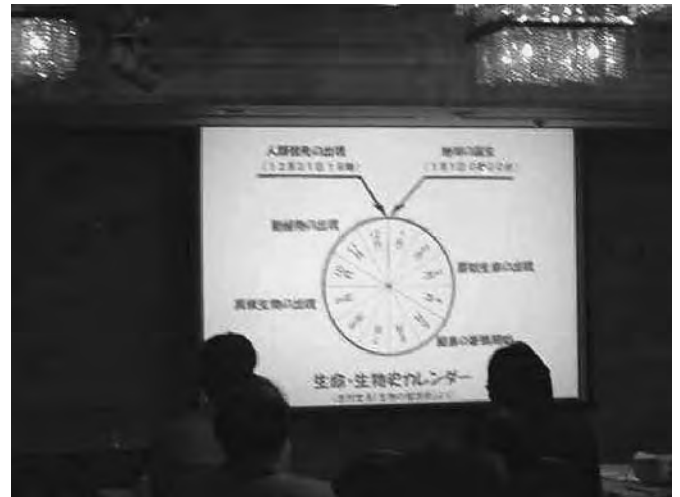
生命誕生 40億年前 40m

人間誕生 400万年前 4cm

「紀元」開始 2000年前 0.02mm

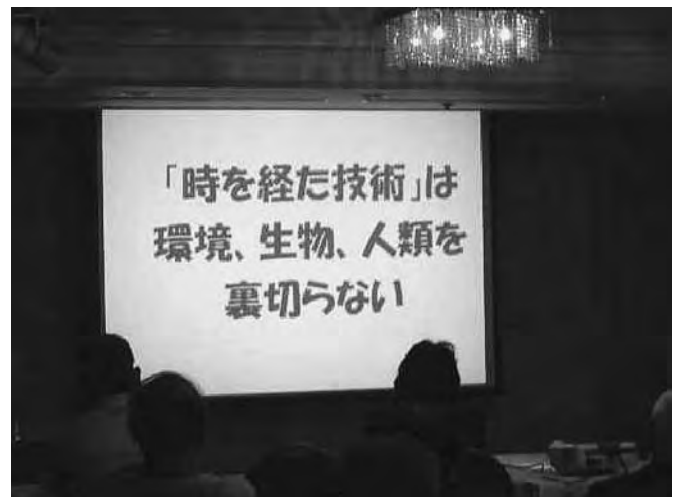
産業革命 1750年 2.56 $\mu$ m

IT時代元年 1948年 0.58 $\mu$ m



⑦井沢元彦の新世紀探訪第9回(週刊文春1999年3月11号)での私の発言「自然の摂理を見つめなおすことが、21世紀の技術に必要です。」「自然の道理にのっとった技術の進歩、これ以外に地球も人類も救われる道はない」

⑧時を経た技術、生物が溜め込んで来た技術というもの、環境、生物、人類を裏切らない。生物に学ぶ、生物のすごさを知って尊敬することが世の中を良くすることになる。



理事会を開催しました。出席者 11 名。

#### 議事

- 1.新年度スタートに際して 吉澤会長より挨拶。
- 2.新入会員 126 号会報に 3 名の方を記載する。(池谷さん、小林さん、日名地さん) 他に 2 名の方から申し込みあり。
- 3.会報について 現在編集中。やや遅れ気味。
- 4.中小企業診断士協会との連携・交流の具体策 合同で例会が開けないか? 中小企業の技術力の向上に寄与できないか。
- 5.理科支援講師派遣関係 木村会員より中間報告あり。現在講師登録本会から 8 名。静岡県、静岡市、浜松市等各教育委員会を訪問しているところ。
- 6.メーリングリストへの登録拡大 現在登録している方 30 余名と少ない。増加していきたい。
- 7.静岡県農地整備室への技術士紹介 本年も紹介の申し込みあり。電気部門の会員を紹介する予定。
- 8.中部支部との連携交流の拡大 現在 13 名の会員の方々がいろいろな部会等に参加している。本年も 10 月には合同の例会がある。また来年には四日市での全国大会がある。その他当協会と技術士会支部との覚書締結についての提案がある。また、現在日本技術士会が公益法人化を検討中とのことであるが、この件に関しては、取り敢えず次回会報に概略を掲載できないか。(会報担当検討のこと)
- 9.会費の納入について 会報に“納入のお願い”を記載する。
- 10.その他
  - ①会員名簿の作成準備 次年度発行の予定になっている。今年度で準備が必要である。情報公開の問題がありどこまでの内容とするか、様式をどうするかなど検討が必要である。
  - ②次回例会の予定 7月1日とする。 以上

日本技術士会の公益法人化について

(編集子)

理事会において取り上げられた公益法人化について、若干の報告をさせていただきます。

資料によりますと、このたび公益法人の制度改定により、日本技術士会は、一般社団か、公益社団かの 2 社択一を迫られている。会の性格から当然公益社団であると考えられるので、これに変更をしていく。

公益法人化により変わってくることは何かというと、すでに現行では、公益性の高い事業を進めており、税法上の変更は実質的には無い。行政上では、内閣府、文部科学省よりの指導監督を受けることも同じであり、行政上の処分を受けた場合公益法人を取り消されることも同じである。

日本技術士会が公益社団法人化することにより、「技術士及び技術士会の社会的認知度の向上、社会的評価の獲得」に関して公益性を認定された社団法人として、社会的認知を高めやすくなると期待されることにある。

以上が資料から得た内容であります。詳細は、今後支部からの報告があり次第掲載したいと考えております。

以上



## 会員消息

### 新入会員紹介

氏名欄の数字は、会員登録日です。



氏名 池谷 忠文 (いけのや ただふみ) 2009.4.8  
技術部門 農業  
勤務先 (株)松和技研 専務取締役  
所在地 浜松市  
自宅 藤枝市  
業績等 H8 第三紀泥岩トンネルにおける大変形とその抑止、  
H14 東富士ダム耐震表面遮水補修工法の検討、測量士



氏名 小林 一雄 (こばやし かずお) 2009.4.22  
技術部門 機械  
勤務先 はままつ産業創造センター  
所在地 浜松市  
自宅 浜松市  
業績等 (株)日立製作所にて業務用AV機器開発製造に従事、  
その後日本コロムビア、北電子勤務後、  
本年より現職(特許アドバイザー)。  
日本技術士会会員、消防設備士甲種1類



氏名 日名地 輝彦 (ひなじ てるひこ) 2009.4.27  
技術部門 機械部門 修習技術士 (H20 合格)  
勤務先 応用技術研究所 所長  
所在地 湖西市  
自宅 湖西市  
業績等 1994METRA 社向け鉄道車両の強度設計、  
書籍「XVLによるエンジニアリング Web3D アニメーション入門」。  
日本技術士会会員、品質管理検定2級、ソフトウェア開発技術者

## 会計担当からのお知らせ

### 年会費についてのお知らせとお願い

1. 平成21年度（H21.4.1～H22.3.31）の年会費を、出来るだけ早く納入いただきますようお願い申し上げます。
2. 納入先は  
取引銀行：静岡銀行 磐田支店  
名義人：静岡県技術士協会 会計 鈴木敏弘 054-298-9555  
口座番号：普通預金 0980271
3. 年会費は 一般会員：8,000円 名誉会員：4,000円

## 編集後記

新年度に入りました。会報編集も悪戦苦闘しておりますが、引き続きご協力をお願い申し上げます。今回は、志村先生の講演要旨を掲載させていただきました。先生の研究の幅の広さには驚くばかりですが、その後ご連絡をいただきまして、先生がテレビ放送に出演するとのことでした。残念ながら放送日が6月末までのことで、この会報が配布されます時点ではほとんど終了ということでしたので割愛させていただきました（メーリングリストには流していただきました）が、放送媒体はシアターテレビジョンで、「男の散歩」というテーマで放送されることでありまして、毎回先生がゲストの方をお招きし、対談をするという番組です。第1回のゲストは日本棋院の大竹英雄理事長様ということでした。10回程度放送されるようですが、毎回様々な分野で活躍される超一流のゲストと先生が“智の散歩”を楽しむという内容のようです。先生がお招きするゲストの方には各分野のすばらしい方々がいらっしゃると思いますので、大変有意義な番組ではないかと思えます。

皆様にお願いがあります。

連載しております“技術のさんぽみち”への投稿をお願い致します。すでに会報115号から始めまして、23回の連載を継続しておりますが、引き続き進めて行きたいと思っておりますので宜しく願い申し上げます。それからメーリングリストへの登録もお願い致します。

厳しい暑さの夏がやってきます。電力使用量のピークの時期を迎えます。静岡県では浜岡原発の殆どが停止すると言う状態であり、進む温暖化を少しでも止めようとするには、一層の省エネを進める必要がありますが、健康にもご留意されますようお願い申し上げます。（編集子）

